

2020年1～12月

I.著書

なし

II.原著

- 1) Funahashi H, Miyahara Y, Haruta-Tsukamoto A, Matsuo T, Naono-Nakayama R, Ebihara K, Nishimori T, Ishida Y: Pharmacological characteristics of hemokinin-1-derived peptides in rat pruriceptive processing. *Peptides* 124:170232 (2020)
doi: 10.1016/j.peptides.2019.170232.
- 2) 保田和哉, 武田龍一郎, 蛭原功介, 岩切鈴代, 池田龍二, 石田康:レボドパ投与による精神症状発現・増悪に関する危険因子の解析. *精神科* 36 (5):442-444 (2020)
- 3) 三好良英, 松尾寿栄, 日高弘登, 古郷央一郎, 長嶺育弘, 徳田浩喜, 丸山賢幸, 河内謙介, 莫根隆一, 石田康:小林保健所圏域におけるPEECコースを介した救急医療と精神科医療の連携(第一報). *宮崎県医師会医学会誌* 44 (1):51-57 (2020)
- 4) Hayashi Y, Yoshinaga N, Sasaki Y, Tanoue H, Yoshimura K, Kadowaki Y, Arimura Y, Yanagita T, Ishida Y: How was cognitive behavioral therapy for mood disorder implemented in Japan?: a retrospective observational study using the nationwide claims database from FY2010 to FY2015. *BMJ Open* 10(5): e033365 (2020)
doi:10.1136/bmjopen-2019-033365.
- 5) Miyahara Y, Funahashi H, Naono-Nakayama R, Haruta-Tsukamoto A, Muroi C, Kogoh Y, Nishimori T, Ishida Y: Serotonin and noradrenaline modulate chronic itch processing in mice. *Eur J Pharmacol* 883: 173319 (2020)
doi: 10.1016/j.ejphar.2020.173319.
- 6) Tanoue H, Yoshinaga N, Hayashi Y, Ishikawa R, Ishigaki T, Ishida Y: Clinical effectiveness of metacognitive training as a transdiagnostic program in routine clinical settings: a prospective, multicenter, single-group study. *Jpn J Nurs Sci* e12389 (2020)
doi: 10.1111/jjns.12389.

- 7) Haruta-Tsukamoto A, Miyahara Y, Funahashi H, Nishimori T, Ishida Y: Perampanel attenuates scratching behavior induced by acute or chronic pruritus in mice. *Biochem Biophys Res Commun* 533 (4): 1102-1108 (2020)
doi: 10.1016/j.bbrc.2020.09.109.
- 8) Naono-Nagatomo K: Response to “Comments on the study: A survey of the effects of ramelteon on benzodiazepine-dependence”. *Asian J Psychiatr* 51: 101617 (2020)
doi: 10.1016/j.ajp.2019.01.014.
- 9) Hamatani S, Tsuchiyagaito A, Nihei M, Hayashi Y, Yoshida T, Takahashi J, Okawa S, Arai H, Nagaoka M, Matsumoto K, Shimizu E, Hirano Y: Predictors of response to exposure and response prevention-based cognitive behavioral therapy for obsessive-compulsive disorder. *BMC Psychiatry* 20(1): 433 (2020)
doi: 10.1186/s12888-020-02841-4.
- 10) Okawa S, Hamatani S, Hayashi Y, Arai H, Nihei M, Yoshida T, Takahashi J, Shimizu E, Hirano Y: Neuropsychological Comparison Between Patients with Social Anxiety and Healthy Controls: Weak Central Coherence and Visual Scanning Deficit. *Neuropsychiatric Disease and Treatment* 16: 2849-2855 (2020)
doi: 10.2147/NDT.S283950.
- 11) Sakai K, Sanders KM, Lin SH, Pavlenko D, Funahashi H, Lozada T, Hao S, Chen CC, Akiyama T. Low-Threshold Mechanosensitive VGLUT3-Lineage Sensory Neurons Mediate Spinal Inhibition of Itch by Touch. *J Neurosci.* 40(40): 7688-7701 (2020)
doi: 10.1523/JNEUROSCI.0091-20.2020.
- 12) Pavlenko D, Funahashi H, Sakai K, Hashimoto T, Lozada T, Yosipovitch G, Akiyama T. IL-23 modulates histamine-evoked itch and response of pruriceptors in mice. *Exp Dermatol.* 29(12): 1209-1215 (2020)
doi: 10.1111/exd.14206.

Ⅲ.症例報告

- 1) 倉増亜紀, 山下直子, 船橋英樹, 植田勇人, 川添哲志, 野崎正太郎, 石田康:ア

ルコール離脱を契機に顕在化した高齢発症てんかんの1例. 宮崎県医師会医学
会誌 44 (1):16-19 (2020)

IV.総説

- 1) 石田康, 船橋英樹, 武田龍一郎:痛みに対する抗うつ薬投与の実態・有用性・限
界. 臨床精神薬理 23 (10):981-987 (2020)

V.その他(報告書、資料、医家向け情報誌・新聞記事、学会記録集等)

- 1) 石田康:「認知症」って何！？ 2020 新春みやぎきの医療.朝日新聞(宮崎版) 1
月 1 日 (2020)
- 2) 石田康:高まる精神科医療へのニーズ. 新春特集. 読売新聞 1月3日(2020)
- 3) 松尾寿栄, 三好良英, 日高弘登, 石田康:宮崎県内における自殺対策～西諸地
域を中心とした取り組みについて～. 宮崎県精神科医会誌 35:16(2020)
- 4) 永澤美樹, 松尾寿栄, 三好良英, 日高弘登, 石田康:医療福祉分野における対
人援助職の離職と自己効力感について. 精神医療 65号 Page17
- 5) 古郷央一郎, 落合秀信, 石田康:救命救急センターへの精神科医常駐開始前後
における精神疾患合併救急搬送症例の入院期間の比較検討. 日本救急医学会
雑誌 (0915-924X)31 卷 11 号 Page1587
- 6) 河野次郎, 漆野雄太, 小玉隆男, 北野知孝, 三山吉夫, 石田康:幻覚を伴う後部
皮質萎縮症の 1 症例. 老年精神医学雑誌 (0915-6305)31 卷増刊 II Page159
- 7) 香田 将英, 高橋 聡, 篠崎 智大, 市川 学, 原田 奈穂子, 近藤 克則, 石田
康:Moran の I 統計量を用いた市区町村・二次医療圏における自殺統計の地
理的特性の検証. 精神神経学雑誌(0033-2658)2020 特別号 Page S571
- 8) 長嶺育弘, 中村仁彦, 佐藤由佳子, 頭師佳世子, 工藤裕子, 岩本直安, 清弥佳,
渡邊祥一郎, 三好良英, 松尾寿栄, 金丸勝弘, 吉田建世, 石田康, 落合秀信:精
神科医師不在の地方救命救急センターにおける地域連携のあり方について. 精
神神経学雑誌 (0033-2658)2020 特別号 Page S514
- 9) 三好良英, 松尾寿栄, 小松弘幸, 石田康:研修医の抑うつとバーンアウトの持続
に関連する気質性格特性. 精神神経学雑誌 (0033-2658)2020 特別号 Page
S439
- 10)清水謙祐, 中村雄, 湯地俊子, 東野哲也, 石田康, 吉田建世:めまい主訴の側
頭葉てんかん 1 症例. 精神神経学雑誌 (0033-2658)2020 特別号 Page S300

11)大平洋明:子どものゲーム、インターネット使用. 宮日生活情報紙きゅんと 7月 16日号(2020)

VI.学会の特別講演(教育講演、ランチョンセミナー等を含む)

なし

VII.学会のシンポジウム、パネルディスカッション

- 1) 石田正人, 高野吉輝, 加治木邦彦, 松尾寿栄, 大平洋明:災害時における精神科での受援体制. 第 31 回九州・沖縄社会精神医学セミナー, 宮崎市, 1 月 25 日(2020)
- 2) 長嶺育弘, 中村仁彦, 佐藤由佳子, 頭師佳世子, 工藤裕子, 岩本直安, 清弥佳, 渡邊祥一郎, 三好良英, 松尾寿栄, 金丸勝弘, 吉田建世, 石田康, 落合秀信:精神科医師不在の地方救命救急センターにおける地域連携のあり方について. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, 仙台市, 9 月 28-30 日(2020)
- 3) 中川敦夫, 松岡潤, 渋谷直史, 豊見山泰史, 林佑太, 関口裕子:地域での若手医療従事者による認知行動療法の取り組み. 第 20 回日本認知療法・認知行動療法学会, Web 開催, 11 月 21-23 日(2020)

VIII.その他の招待講演(研究会・研修会の特別講演・教育講演等)

- 1) 石田康:高齢者の不眠症治療 ABC. ロゼレム全国 Web 講演会, 宮崎市, 8 月 26 日(2020)
- 2) 石田康:意外と知らない医師の仕事～精神科医の立場から～. 令和2年度宮崎大学出前講義, 宮崎西高等学校, 宮崎市, 9 月 25 日(2020)
- 3) 石田康:認知症領域～不眠その他の周辺症状への対応～. 漢方領域別 Web セミナー, 北九州市, 10 月 8 日(2020)
- 4) 倉増亜紀:認知症対応力向上研修. 宮崎県医師会医療従事者向け認知症対応力向上研修会, 宮崎市, 10 月 12 日(2020)
- 5) 石田康:不眠症治療～レンボレキサントの持つポテンシャル～. 延岡医学会学術講演会不眠症Webセミナー, 延岡市, 11 月 13 日(2020)
- 6) 石田康:レビー小体病の精神症状とその対応. レビー小体型認知症ライブ配信講演会 from 宮崎, 宮崎市, 12 月 1 日(2020)

- 7) 石田康:不眠症治療～レンボレキサントの持つポテンシャル～. 不眠症診療セミナー(WEB 講習会), 宮崎市, 12 月 9 日(2020)
- 8) 石田康:高齢者のうつと向き合う. トリネリックス WEB 講演会, 宮崎市, 12 月 24 日(2020)
- 9) 三好良英:宮崎県における精神科と救急の連携. 佐賀県精神科病院協会令和元年度精神科救急に関する意見交換会, 佐賀市, 2 月 3 日(2020)

IX.一般講演・発表(国内学会、国際学会)

- 1) 香田将英, 原田奈穂子:GIS(地理情報システム)を活用した宮崎県内プライマリ・ケア提供施設の南海トラフ被害想定および資源再分配化の考察. 第 25 回日本災害医学会総会・学術集会, 神戸市, 2 月 20-22 日(2020)
- 2) 三好良英:看護学生の抑うつとバーンアウトに関連する気質性格特性. 第 52 回日本医学教育学会大会, 鹿児島市, 7 月 18-19 日(2020)
- 3) 宮原裕, 治田彩香, 船橋英樹, 西森利数, 石田康:マウスにおける急性および慢性のかゆみに対するセロトニンおよびノルアドレナリンの関与. 第 50 回日本神経精神薬理学会・第 42 回日本生物学的精神医学会・第4回日本精神薬学会総会・学術集会(NPBPPP 2020 合同年会), 仙台市, 8 月 21-23 日(2020)
- 4) 治田彩香, 宮原裕, 船橋英樹, 西森利数, 石田康:Diphenylcyclopropenone で誘発した慢性の痒みに対するペランパネルの効果. 第 50 回日本神経精神薬理学会・第 42 回日本生物学的精神医学会・第4回日本精神薬学会総会・学術集会(NPBPPP 2020 合同年会), 仙台市, 8 月 21-23 日(2020)
- 5) 三好良英:PEEC コースを介した宮崎県小林保健所圏域の自殺未遂者対応における救急医療と精神科医療の連携強化. 第 23 回日本臨床救急医学会総会学術集会, 東京, 8 月 26-28 日(2020)
- 6) 三好良英, 松尾寿栄, 小松弘幸, 石田康:研修医の抑うつとバーンアウトの持続に関連する気質性格特性. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, 仙台市, 9 月 28-30 日(2020)
- 7) 香田 将英, 高橋 聡, 篠崎 智大, 市川 学, 原田 奈穂子, 近藤 克則, 石田康:Moran の I 統計量を用いた市区町村・二次医療圏における自殺統計の地理的特性の検証. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, 仙台市, 9 月 28-30 日(2020)

- 8) 清水謙祐, 中村雄, 湯地俊子, 東野哲也, 石田康, 吉田建世:めまい主訴の側頭葉てんかん1症例. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, 仙台市, 9 月 28-30 日(2020)
- 9) 三好良英, 古郷央一郎, 日高弘登, 永澤美樹, 落合秀信, 石田康:宮崎大学医学部附属病院における自殺企図症例-措置入院症例の特徴-. 第 28 回日本精神科救急学会学術総会, 高知市, 10 月 9-10 日(2020)
- 10)三好良英:宮崎大学医学部附属病院における自殺企図症例-20 歳未満の症例の特徴-. 第 61 回日本児童青年精神医学会総会, 神戸市, 10 月 22-24 日(2020)
- 11)古郷央一郎, 落合秀信, 石田康:救命救急センターへの精神科医常駐開始前後における精神疾患合併救急搬送症例の入院期間の比較検討. 第 48 回日本救急医学会総会, 岐阜市, 11 月 18-20 日(2020)
- 12)河野次郎, 漆野雄太, 小玉隆男, 北野知孝, 三山吉夫, 石田康:幻覚を伴う後頭皮質萎縮症の1症例. 第 35 回日本老年精神医学会, 米子市, 12 月 20-22 日(2020)

X.その他の講演・発表(懇話会, 研究会, 研修会等)

- 1) 治田彩香: 気軽にできるこころケア～更年期や産後うつ…女性ならではの悩みと向き合うには～. JA 尾鈴女性部年次総会, 都農町, 2 月 21 日(2020)
- 2) 石田康ほか:不眠症治療戦略～新たなるオレキシン受容体拮抗薬レンボレキサントについて～. Premium Digital 座談会, 久留米市(発信会場)8 月 31 日(2020)